

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22006	事業名	景観づくり推進事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	01:魅力的な都市空間の形成			款	08:土木費
		施策の方向	03:安らぎのある都市の形成			項	04:都市計画費
		重点プロジェクト	-			目	01:都市計画総務費
事業期間	R 4 年度 ~ R 5 年度	主な根拠法令等	景観法、景観計画、歴史的風致維持向上計画				

評価分類	A2(繰越)
------	--------

担当部署	
部	建設部
課	都市整備課 都市計画G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	都市マスタープランの基本理念である「都市の価値と魅力(都市力)の向上」を図るため、市の特色を活かした景観づくりを推進し、次世代への継承する良好な景観と、新たに創造する景観により市の魅力を向上していく必要がある。	地域住民及び事業者	本市の特色となる歴史的資産であるまちなみ景観や周囲を囲む自然景観等を次世代へと継承し、その歴史的資産、自然景観と調和する景観づくりを進め、景観形成による地域の魅力向上を図る。	景観計画に基づく景観重点地区の指定の追加、景観形成基準の検討を行い、景観計画を改定する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○重点地区指定検討	○景観計画改定			
	活動実績 (計画通り実施できたか)	景観重点地区の指定に向け、景観形成基準の検討を進めるとともに、西町、万町、西丸町において地域懇談会を開催し、地域の意見聴取を行ったが、重点地区指定に向けた方向性の合意に至らなかった。	亀山市景観計画改定に向け改定案の作成を行った。 また、景観重点地区の指定を進めるため、景観形成基準等についてのアンケート調査、地域懇談会を実施したが、重点地区指定に向けた地元合意に至らなかった。そのため、地元合意形成を効果的に進めるため、景観形成基準案適合イラストの作成を行った。	景観重点地区の指定に向け、地域住民に対する地域懇談会、アンケート調査の実施など機運の醸成を図ったが、地元合意に至らなかった。このことから、景観重点地区の指定及び景観計画の改定については一旦見送ることとなったが、伝統的な建造物の保全を図るため、今後の景観形成の方針について整理を行うことができた。		
計画額	事業費	2,000千円	0千円	2,200千円	2,000千円	2,200千円
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
		一般財源	2,000千円	0千円	2,200千円	2,000千円
決算額	事業費	0千円	0千円	1,760千円	0千円	0千円
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
		一般財源	0千円	0千円	1,760千円	0千円
①期間内計画額(R4-7)		4,200千円	②期間外計画額(R8-)	0千円	①+②総計画額	4,200千円

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	2,200千円
当年度の最終予算額	0千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	景観計画の改定	現行の景観計画を見直し、景観計画の改定を行う	成果	計画	計画値 実績値			1 0	
				計画値 実績値					
				計画値 実績値					

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	B	景観重点地区への指定に向けて十分な意見の一致を見ることは出来なかったが、地域懇談会やアンケート調査を通じた市民との対話により、市民意見を十分に汲み取った上で、方向性を決定することができた。
	まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
地域住民及び事業者	本市の特色となる歴史的資産であるまちなみ景観や周囲を囲む自然景観等を次世代へと継承し、その歴史的資産、自然景観と調和する景観づくりを進め、景観形成による地域の魅力向上を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	完了	目的の達成又は周期の到達等により事業を完了する。
	改善・見直し内容	
	令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	B	B	
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	完了	

【履歴】

1次評価者	建設部 都市整備課 都市計画GL 加藤 洋輔
最終評価者	建設部 都市整備課長 橋本 了